

政治経済

単位数	2 単位	対象学年	3 学年	対象コース・クラス	3 年全クラス
使用教科書	「新政治・経済」 (第一学習社)	副教材等	「改訂版 新政治・経済ノート」 (第一学習社)		

1. 学習の到達目標

1. 現代の日本の政治及び国際政治の動向について関心を高め、民主政治の本質について把握し、政治についての基本的な見方や考え方を身に付ける。
2. 現代の日本経済及び世界経済の動向について関心を高め、現代経済の仕組みや機能について理解し、その特質を把握する。
3. 政治や経済などに関する基本的な理解を踏まえ、持続可能な社会の形成が求められる現代社会の諸課題を探究する活動を通して、望ましい解決の在り方について考察を深める。

2. 到達目標に向けての具体的な取り組み

1. 教科書をよく読み、解らない用語はノートに書き、読み方や意味を辞書で調べる。
2. 定期試験前には、教科書・ノート・「新政治・経済ノート」を活用して復習する。
3. 新聞やテレビ等を通じてニュースを見たり聞いたりして、社会で起こっている事が自分の生活とどのように関係しているかを考える。

3. 学習上のメッセージ

授業で進む範囲については、必ず教科書を読んでおくこと。
 解説、授業内容と教科書の記述内容、板書事項、図表など、しっかりその都度照合しながら、授業中に理解しようと努めること。
 重要事項のみならず、欄外の補足も丁寧に読むと理解に役立つ。
 ノートの使い方(授業中に配布するプリントの貼付方法・補足事項の記入方法等)を年度の冒頭の授業で説明するので指示に従う事。

4. 評価の観点・方法 (年間の評定)

評価は次の4つの観点から行う。

関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業に集中している。 ・ 重要と思った事項や図を書きとめ、ノートの取り方を工夫している。 ・ 必要に応じて資料などを活用している。 ・ 期限を守って、課題の提出が出来る。 ・ 疑問点を積極的に質問して、解決しようとしている。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な事象について、地理的、歴史的な因果関係を主体的に追求し、物事の本質を関連づけて考えることができる。 ・ 身の回りで起こる事象の社会(地理的・歴史的)背景について関心を持ち本や新聞・テレビ等で幅広い情報を得ようとしている。
技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代社会資料を活用して疑問点を解決できる。 ・ 統計資料などを読みとり、有用な情報を得ることができる。
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代社会について、国際社会の視野から総合的に理解し、現代社会の諸問題について、自分自身との関わりに着目して課題を考え、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めることができる。 ・ 現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を身につける。

このため、評価は次のものを対象とする。

- ① 年5回の定期考査
 - ② 授業中の発問に対して回答を記入して提出されたプリント等
 - ③ 授業中板書を写したノートの提出
 - ④ 広島桜が丘高等学校の生徒として規則に則った服装での学習活動の参加状況
- 1年間の評定は、年間を通じて、総合的に評価する。



5. 学習内容と評価について

単元名	使用教科書項目	指導内容と評価のポイント
第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本原理と日本国憲法	①政治とは何だろうか？ ②民主政治の展開 ③人権保障の発展 ④議会制民主主義と政治の特質 ⑤日本国憲法の成立 ⑥日本国憲法の基本原理 ⑦平和主義と自衛隊 ⑧日本の安全保障 ⑨安全保障と日本の防衛 ⑩法の下での平等と自由権 ⑪豊かに生きる権利 ⑫新しい人権	<ul style="list-style-type: none"> ・国家と私たちの関係について考え、国家成立の思想について学習する。 ・法の支配の意義と基本的人権の保障について理解する。 ・各国に議会制について考察する。 ・日本国憲法の基本原則について学習する。 ・非核三原則や自衛隊をめぐる問題について学習し、日米安全保障について理解を深める。 ・偏見、差別の解消についての課題や自由権について学習し、社会権・基本的人権を確保するための権利及び新しい人権について理解を深める。
1 学期中間試験		
第2章 現代の国際政治と日本	⑬国会の組織と機能 ⑭国会の権限と衆議院の優越 ⑮内閣の機構と機能 ⑯裁判所の機能と人権保障 ⑰地方自治制度と住民の権利 ⑱政党政治と圧力団体 ⑲日本の選挙制度とその課題 ⑳世論と現代政治の課題 ①国際社会と国際法 ②国際連合の役割と国際協力 ③第二次世界大戦後の国際社会 ④今日の国際社会 ⑤国際政治の特質と国際紛争の諸要因 ⑥核兵器の廃絶と軍縮問題 ⑦国際平和と日本の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・国民主権と議会制民主主義、国会の地位と構成、国会の運営と権限、衆議院の優越について学習する。 ・内閣の組織と権限、行政機能と民主化について学習する。 ・司法のしくみ、司法権の独立について理解する。 ・民主主義の学校、地方自治の課題、地域社会の一員として何をすべきかについて学習する。 ・日本の選挙制度、選挙制度の課題について、政党と圧力団体、世論と現代の政治について学習する。 ・国境や領土問題について学習し、地域紛争や難民問題について理解を深める。 ・国連の成立と目的・役割・課題についての学習。 ・第二次世界大戦後の国際社会についての理解を深め、主権国家をめぐる新しい動き、国際法の役割について考察する。 ・軍縮と核兵器廃絶の理解と国際平和にむけての取り組みを学習する。 ・日本の外交問題や世界の中での日本の役割について学習し、国際平和へ向けて、国際社会の一員として何をすべきかを考える。
1 学期期末試験		
第2編 現代の経済 第1章 現代経済のしくみと特質	①資本主義経済のしくみとは？ ②資本主義経済の課題と社会主義経済の変容 ③経済主体と経済活動 ④市場経済の機能と限界 ⑤景気変動と経済成長 ⑥インフレーションとデフレーション ⑦財政のしくみとはたらき ⑧租税と国債 ⑨資金の循環と金融市場 ⑩日本銀行と金融政策 ⑪日本経済の発展 ⑫今日の日本経済	<ul style="list-style-type: none"> ・資本主義経済と社会主義経済の成立と変容について学習する。 ・市場経済と計画経済の違いについて学習する。 ・企業活動や株式会社の仕組みについて考察する。 ・需要と供給の関係について理解し、物やサービスの価格の決定や市場の現状を把握する。 ・財政の仕組みと財政政策、金融の仕組みと金融政策を理解する。私たちの生活と関連づけて考察。 ・第二次世界大戦後の日本経済の特徴を理解する。 ・技術革新や経済の発展のよって社会がどのように変化したのかを理解する。
2 学期中間試験		

<p>第2章 国民経済と国際経済</p>	<p>⑬中小企業と農業 ⑭消費者問題 ⑮高度情報社会 ⑯労働関係の改善 ⑰社会保障制度の充実 ⑱公害防止と環境保全 ⑲地球環境問題</p> <p>①国際経済のしくみと現状 ②為替相場のしくみ ③国際協調と国際経済機関の役割 ④地域的経済統合の動き ⑤経済摩擦問題とグローバル化 ⑥国際経済の諸問題と日本の役割</p>	<p>・中小企業や農業の役割と課題について学習する。 ・契約と消費者の自覚、消費者保護政策と企業の社会的責任について学習する。 ・労働基本権や雇用事情の変化、労働条件の改善や整備、社会保障制度の仕組みと課題について、これから社会人として労働して行く立場から、諸問題について考察する。 ・日本の社会保障制度のしくみと課題について学習する。 ・日本の公害、公害防止と公害対策、環境の保全について学習する。 ・自由貿易と保護貿易の違いについて考察し、国際機関の役割について学習する。 ・国際収支の動きや外国為替相場の動きと影響について考察し、日本の貿易の特徴について理解する。 ・アメリカや新興諸国はどのように経済発展してきたのか理解する。 ・国際経済機構と日本、南北問題、発展途上国やアジア経済の現状と課題について学習する。</p>
<p>2学期期末試験</p>		
<p>第3編 現代社会の諸課題 第1章 現代日本の政治や経済の諸課題 第2章 国際社会の政治や経済の諸課題</p>	<p>①少子高齢化と社会保障 ②地域社会の変貌と住民生活 ③雇用と労働をめぐる問題 ④中小企業問題 ⑤農業と食料問題</p> <p>①地球環境と資源・エネルギー問題 ②国際経済格差の是正 ③人種・民族問題と地域紛争 ④国際社会における日本の立場と役割</p>	<p>・これまでの学習内容を元に、現代日本が抱えるさまざまな諸課題について探求する。</p> <p>・これまでの学習内容を元に、国際社会が抱えるさまざまな諸課題について探求する。</p>
<p>学年末試験</p>		

内 容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
		上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
第1編 現代の政治	第1章 民主政治の基本原理と日本国憲法	①政治とは何だろうか？		↑										
		②民主政治の展開												
		③人権保障の発達												
		④議会制民主主義と政治の特質												
		⑤日本国憲法の成立												
		⑥日本国憲法の基本原理												
		⑦平和主義と自衛隊												
		⑧日本の安全保障												
		⑨安全保障と日本の防衛												
		⑩法の下での平等と自由権												
		⑪豊かに生きる権利												
		⑫新しい人権			↓									
		⑬国会の組織と機能				↑								
		⑭国会の権限と衆議院の優越												
		⑮内閣の機構と機能												
		⑯裁判所の機能と人権保障												
		⑰地方自治制度と住民の権利												
		⑱政党政治と圧力団体												
		⑲日本の選挙制度とその課題												
		⑳世論と現代社会の課題												
第2章 現代の国際政治と日本	①国際社会と国際法													
	②国際連合の役割と国際協力													
	③第二次世界大戦後の国際社会													
	④今日の国際社会													
	⑤国際政治の特質と国際紛争の諸要因													
	⑥核兵器の廃絶と軍縮問題													
	⑦国際平和と日本の役割				↓									
第2編 現代の経済社会の変容と経済のしくみ	第1章 経済社会のしくみ	①資本主義経済のしくみとは？												
		②資本主義経済の課題と社会主義経済の変容												
		③経済主体と経済活動												
		④市場経済の機能と限界												
		⑤景気変動と経済成長												
		⑥インフレーションとデフレーション												
		⑦財政のしくみとはたらき												
		⑧租税と国債												
		⑨資金の循環と金融市場												
		⑩日本銀行と金融政策												
		⑪日本経済の発展												
		⑫今日の日本経済												
		⑬中小企業と農業												
		⑭消費者問題												
		⑮高度情報社会												
		⑯労働関係の改善												
		⑰社会保障制度の充実												
		⑱公害防止と環境保全												
		⑲地球環境問題												
第2章 国際経済と日本経済	①国際経済のしくみと現状													
	②為替相場のしくみ													
	③国際協調と国際経済機関の役割													
	④地域的経済統合の動き													
	⑤経済摩擦問題とグローバル化													
	⑥国際経済の諸問題と日本の役割													
第3編 現代社会の諸課題	第1章 現代日本の課題と展望	①少子高齢社会と社会保障												
		②地域社会の変貌と住民生活												
		③雇用と労働をめぐる問題												
		④中小企業問題												
		⑤農業と食料問題												
	第2章 地球社会の諸課題	①地球環境と資源・エネルギー問題												
		②国際経済格差の是正												
		③人種・民族問題と地域紛争												
④国際社会における日本の立場と役割														

凡例

 授業計画
 試験範囲

行事等

中間試験 期末試験 中間試験 期末試験 卒業試験 学年末試験